

2025年2月23日(日)

日本キリスト教団 ^{きゅうほうきょうかい}久宝教会
第67巻第48号(通算3430号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう
週報

教会標語

ちい 小くされてい ^{ひと}る人を
たいせつ 大切に ^{きょうかい}する教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

神はこの世を大切に思い、ひとり子を差し出した。ひとり子に信頼をもってあゆみを起こす人が
みな、滅びることなく、永遠のいのちを得るようになるためである。(ヨハネによる福音書3:16)

こうたんせつ だい しゅじつれいはい
降誕節 第9主日礼拝

れいはい
《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも
しちよう 視聴いただけますので、それぞれの場所 ^{ばしよ}で共に礼拝をして ^{いた}頂けます》

ぜんそう もくとう
前奏 (黙禱)

ちよさくけんしやうめつ
AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば
招きの詞

しへん
詩編

へん せつ
103編 15-17節

さんびか
賛美歌

ばん しゅ あい きやうだんさんびかいいんかい
21-484番 「主われを愛す」 (©教団讚美歌委員会)

せいしよ
聖書

しんと てがみ
コリントの信徒への手紙II

しやう せつ
12章 1-10節

いの
お祈り

さんびか
賛美歌

ばん めぐ う いま きやうだんさんびかいいんかい
21-536番 「み恵みを受けた今は」 (©教団讚美歌委員会)

ちから よわ とき はつき うしだ ただし ぼくし
メッセージ 「力は弱っている時にこそ発揮される」 牛田 匡 牧師

さんびか
賛美歌

ばん めぐ きやうだんさんびかいいんかい
21-451番 「くすしきみ恵み」 (©教団讚美歌委員会)

しゅ いの
主の祈り

ばん てん ちち さんびかかいていいんかい
21-62番 「天にいます わたしたちの父」 (©讚美歌改訂委員会)

たんじやうしやしゆくふくしき
誕生者祝福式 (*)

うしだ ただし ぼくし
牛田 匡 牧師

ささげもの
献げ物 (**)

は けん 遣
派遣

ばん かみ めぐ う せつ
21-91番 「神の恵みゆたかに受け」 (1節のみ) (©JASRAC)

しゅくふく
祝福

うしだ ただし ぼくし
牛田 匡 牧師

こうそう
後奏

ばん きやうだんさんびかいいんかい
アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讚美歌委員会)

ほうこく
報告

ページ さんしやう
(4頁をご参照ください)

せき すわ
《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* みんなで2月にお生まれになった方をお祝いします。

** 「献げ物 (献金)」は、受付にある献金箱にお献げください。

招きの詞 詩編 103 編 15-17節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

15 人の日々は草のよう。

野の花のように咲くのみ。

16 風がそこを吹き抜ければ、消えうせ

生えていた場所も、もはやそれを知らない。

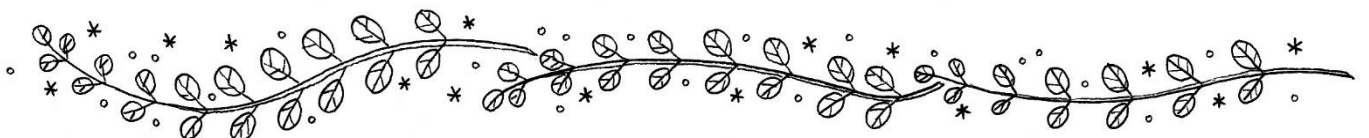
17 しかし、主の慈しみは

いにしえからとこしえまで主を畏れる者の上にあり

その義は子らの子に

聖書 マタイによる福音書 5章 1-12節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

1 私は誇らずにいられません。誇っても無益ですが、主の幻と啓示とについて語りましょう。2 私は、キリストにある一人の人を知っています。その人は十四年前、第三の天にまで引き上げられたのです。体のままか、体の外に出てかは知りません。神がご存じです。3 私はそのような人を知っています。体のままか、体を離れてかは知りません。神がご存じです。4 その人は樂園にまで引き上げられ、人が口にするのを許されない、言い表しえない言葉を聞いたのです。5 このような人のことを私は誇りましょう。しかし、私自身については、弱さ以外は誇るつもりはありません。6 もっとも、私が誇る気になったとしても、真実を語るのだから、愚か者にはならないでしょう。しかし、誇るのはやめましょう。私について見たり、聞いたりする以上に、私を買いかぶる人がいるかもしれないからです。7 また、あまりに多くの啓示を受けたため、それで思い上がることのないようにと、私の体に一つの棘が与えられました。それは、思い上がらないように、私を打つために、サタンから送られた使いです。8 この使いについて、離れ去らせてくださるよう、私は三度主に願いました。9 ところが主は、「私の恵みはあなたに十分である。力は弱さの中で完全に現れるのだ」と言われました。だから、キリストの力が私に宿るように、むしろ大いに喜んで自分の弱さを誇りましょう。10 それゆえ、私は、弱さ、侮辱、困窮、迫害、行き詰まりの中にあっても、キリストのために喜んでいます。なぜなら、私は、弱いときにこそ強いからです。



《先週のメッセージより》2025年2月16日

「心の貧しい人とは」

水谷憲牧師

聖書 マタイによる福音書 5章 1-12節

「心の貧しい人々」とは誰なのか。「心の貧しい」とは、私たちの自然な感覚では、自分勝手に、人の不幸を喜び、幸せをねたみ、人を蔑み、傷つけ、差別して平気であるような、そんな情けない性根。そんな心を持った人が「幸い」で、「天国はそんな人のものだ」とキリストは言うのか。確かに、天国が「心の豊かな者」だけのためにあるのなら、私たちのほとんどは天国に招かれる希望はない。しかし天国が、性根の腐った「心の貧しい奴ら」のものだとしても、こんな救いのない話はない。別に完全な人間ではなくとも一生懸命生きようとしている正直者は、いつまでもバカを見続けたいといけないのか。

1節「イエスはこの群衆を見て、山に登られた」。この時代、病気の原因は悪霊の仕業、または本人や先祖の犯した罪だと考えられていたため、「この群衆」は差別され、共同体からも隔離されたりしていた。彼らも人間不信や猜疑心、嫉妬心やいじけた気持ちなどで心を貧しくさせられていたのかもしれない。しかしそんな彼らが、イエスの評判を聞いて各地から続々とイエスの元にやってきたのだ。イエスは、そんな彼らを見て山に登り、「幸い」について教え始められたのだ。

つまりイエスの言われた「幸いな者」すなわち「心の貧しい者」は、自分の心の貧しさに心を痛めている人・自分の心の貧しいことを知っている人、そしてその心の貧しさからの解放を願っている人のことだったのではないか。些細なことで家族に怒鳴り散らす自分。人をうらやみ、自分が不幸なのはあいつらのせいだと自分を正当化し、責任を周りに押し付けながら生きる自分。ねたんでいた他人が不幸に襲われることでほくそえむ浅ましい自分。人を蹴落として少しでも優越感を感じたいと願っている卑怯な自分。諦めと恨みの気持ちで内にこもってしまういじけた自分。そんな、自分でも認めたくない醜い一面が自分にも確かにあるということを痛みと悲しみをもって認め、そこから解放されたいと願っているこの私に向けて、キリストは「天の国はそんなあなたのためのものだ」と言われる。

自分の心の貧しさに痛みを感じつつもがく「心の貧しい人々」にこそ、キリストは「喜びなさい。大いに喜びなさい」と励まして下さる。自分の心の貧しさを謙虚に引き受けて神の助けを願い求め、天国に迎え入れていただける者となっていきたい。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 2025年2月16日

礼拝出席 大人6名 献金 大人5,000円 中継視聴者数9回 感謝

◎次週 2025年3月2日(日) 降誕節第10主日礼拝

招きの詞 ヨエル書 2章 12-13節

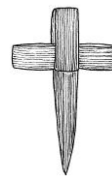
聖書 マタイによる福音書 6章 16-21節

メッセージ 「大切にすることは何か」牛田匡牧師

賛美歌 21-289番(©P.D.)、21-507番(©教団出版局)、21-504番(©JASRAC)

今年のレント(受難節・四旬節)は、3月5日(水)から4月19日(土)です。

レントの期間は、イエス様の生涯や十字架の意味、イエス様に従うとはどういうことかについて考える時です。



◎お知らせ

- ・これまでの「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。
- ・本日、礼拝後に、釜ヶ崎支援のための「おにぎり作り」を致します。どなたでもどうぞご参加ください。また献品も随時、歓迎いたします。
- ・本日、14時半~16時半にかけて、枚岡教会にて、河内地区有志教会壮年会が開催されます。枚岡教会の浅見覚牧師による礼拝の後、「LINEのセキュリティー対策」に関するお話しがある他、浅見牧師を囲んでの歓談の時を持つ予定です。参加費は無料です。青年や女性も歓迎いたします。どなたでもご参加ください。
- ・本日、15時から、在日大韓基督教会大阪教会(JR鶴橋駅下車・徒歩20分。地下鉄今里駅下車・徒歩10分)にて、「第11回大阪韓日教会合同礼拝」(主催:在日大韓基督教会関西地方会・日本基督教団大阪教区)が開催されます。礼拝は右のQRコードにてライブ中継されます。
- ・2月24日(月)13時~16時にかけて高石教会(高石市・南海伽羅橋駅)にて、大阪教区「2024年度宣教セミナー」が開催されます。テーマは「地区活動について考える」です。



大阪教区には大阪中部地区・大阪西地区・大阪南地区・北摂地区・豊能地区・河北地区・河内地区・河南地区・南海地区・奈良地区・和歌山地区の11地区がありますが、それぞれの地区での活動や取組みについては、あまり知られていません。今回は3人の方々からの発題をもとに、地区活動について一緒に考えられたらと思います。参加費は無料です。往復1500円を越える分についての交通費補助もあります。どうぞご参加ください。

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
3/2	牛田匡牧師	ユーカリスト・教会を考える会
3/9	水谷憲牧師	
3/16	牛田匡牧師	おにぎり支援
3/23	牛田匡牧師	臨時教会総会?

大阪教区 2024年度 **宣教セミナー**

テーマ:「地区活動について考える」

主催: 日本基督教団大阪教区宣教委員会

日時: 2025年2月24日(月・休) 13:00~16:00

場所: 高石教会 (高石市高師浜 1-4-3) ※公共交通機関をご利用ください

開催方法: 対面・オンライン ◆申込締切: 2/12(水)

【タイムテーブル】

12:30 受付開始

13:00 開会 (賛美・聖書朗読・祈禱・挨拶)

13:10 発題 ①奈良地区から 藤川麗人さん (奈良高徳教会・地区委員長)
 ②和歌山地区と和歌山道合長老会の報告 阿部純太郎さん (実和聖山教会)
 ③教区の歴史的観点から 有澤優一さん (池田五月山教会・元大阪教区総会議長)

14:10~質疑応答 14:40~参加者紹介・Zoom終了・休憩 15:00~分団・交わり

15:45~分かち合い 16:00 解散

大阪教区では「地区」が教区規則に位置づけられていないため、報告資料にも報告が掲載されず、どのような活動がなされているのかを共有できません。歴史的経緯もあると思いますが、今日の宣教の困難を鑑み、今後どのような協力共助が可能なかの必要なのを共に考え、創造するきっかけになればと願っています。

◆オンライン申込フォーム
 こちらのQRコードを下記メールアドレスよりお申し込みください。
 ①お名前 jaskaan@gmail.com
 申込方法がわからない方は、大阪教区事務所 (06-6761-8562) までお問い合わせください。

◆参加費無料! 交通費補助あり! (往復1500円を越える分)